

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム やすらぎ東古松

目標達成計画

作成日：令和4年10月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	コロナ禍だからこそ、地域と密に深い関りをこれからも継続してほしい。	コロナ禍前のように、風船のパフォーマンスやクリスマスのコーラスに来てもらう。	コロナの前に来て頂く様にしていたが、延期になっていたのので、再開してもらう。	3ヶ月
2	4 (3)	良い取り組みなので、コロナに負けず、専門職を招いての勉強会を継続してほしい。	包括の人と運営推進会議で2回程パスされているので、別日を設けて色々な疑問点をぶつけてみたい。	電話やFAXでいつも連絡がつくので、お互いの都合の良い日にしたいと思っている。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。